

# みやけの風

## 第 224 号

平成17年(2005年)5月28日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

アカコッコ館は、現在オープンに向けて準備中です。新聞によると5月の連休中、島を訪れた観光客は2,200人を超えたそうです。三宅島は夏の観光シーズンにむけて、いよいよエンジン全開になってきました。本日午後9時からNHKスペシャルで三宅島のことなどが放送されるそうです。どんな内容になるのでしょうか。

### みんなの声

#### 帰島を前にして

今日もまた引っ越しの車がアパートの前に止まって、三宅島行きの荷物を運び出している。

避難当初三宅島住民が33世帯だったこのアパートも、今は数世帯になってしまった。

なんとなく心細いこのごろのアパート住まい。避難指示解除の二月から引っ越しが始まって、アパートの住民から「島のもんは・・・」と言われないように、ゴミ捨てから、住宅退居等、ルールを守るべく島民同士でお互い気を使いながら頑張っている。自分自身も、七月までの住宅延長期限を目前にして、少しずつ郵パックで荷物を作っては島へ送り込んでいる。五年にもなる避難生活を支えてくださった、周囲のかたがたへの挨拶も、これからぼちぼちと歩きたいと思っている。考えるとやり残していることが沢山ありそうで、落ち着かない毎日を過ごしている。主人の移動手段、亡義母の埋葬、荷物のまとめ、荷解き、電気、ガス、水道等の届け出、島での生活環境の整備など考えるときりが無い。

でもこの不安をいつまでも抱えているわけにはいかないとも思っている。これから島で暮らすためには心身ともに健康でいなくてはならない。病は弱いところを狙って入り込んでくる。これから自分たちで、安心して暮らせる島作りをするためにも弱気は禁物、前向き、笑顔、背筋を伸ばして軽やかな足取りで、前へ歩んで

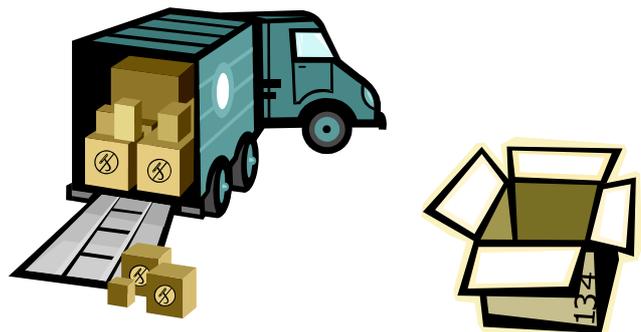
いこうと思っている。

そして先発隊で帰島したみんなと、島外避難という貴重な体験をバネにして、これからの三宅島を語れたら凄いなーと思っている。また、今回島へ戻られない方々にも、外から見た三宅島をおおいに語りに、時々私たちの仲間に入って欲しいと願っている。今回ボランティアとして、島で一週間ずつ過ごされた方々や、これまで、三宅島支援に関わってくださった大勢の方々にも、ずっとずっと手を貸してもらって、三宅島がステキな島に甦ることを夢見ている。そのために私は「聞く耳を持つ」人間になりたいと思っている。

「これで一段落したなー」とお互いに言える時が来る日は何時になるのだろうか？

まだまだ長い年月がかかりそうだけれども、それを最短にするのは「私たち自身にかかっているのかなー」なんて思うのは大それたことなのだろうか？島を良くしたい思いは皆同じだと思うので、これからコミュニケーションを計って大きな輪をつくり、まあいい三宅島が創れたら嬉しいと思う。

(港区 早川 マス子)



**みやけの風現地センターから**

「入梅」の声が、聞かれるようになりました。島のあちらこちらでは、苗場を起こして、サトイモやトマトなどの夏野菜の苗をすえる姿や、カゴを背負って畑に歩いていく人も見かけます。ただ、「ニガッタケを採りたいんだけど、雨が無いからまだだな・・・」と島の人たちが言うほど、ここ数週間にまとまった雨がなくて、一雨ほしいところです。

支援センターの島内での活動は、早いもので4ヶ月を迎えようとしています。私たちは、この間にお帰りになられた島の方々の、新しい暮らしの一步を支えたいという気持ちで、島の皆さんと一緒させていただいてきました。

そんな中、今週の日曜日には、島の方が私たちと同じ赤い帽子を身に付けて、活動にご一緒下さいました。これまでもたくさんの島

の方々に力を借りながら活動を続けて来ましたが、三宅島でまたたくさんの島の方に出会い、そしてご一緒できることを本当にうれしく思います。

今、島の中では島の方同士が声を掛け、心配しあい、また励ましあう姿が多くみられます。先日、引越荷物の整理のお手伝いに伺った際にも、そこにご近所の方が来られ、心からの「お帰り」という言葉から始まる会話と優しい時間が流れました。そんな場面に出会う度に、改めて島の中の優しさをとても強く感じています。

支援センターは引き続いて、その優しさをご一緒させていただきながら、活動を続けてまいります。

5月26日 木曜日

(三宅島支援センター 現地事務局より)

**三宅島自然ふれあいセンター「アカコッコ館」より**

ホトトギスが三宅にも渡ってきて、アカコッコ館の周辺は鳥のさえずりでさらににぎやかになっています。窓を開けていると、さわやかな風と鳥の合唱が聞こえてきて、とっても心地良いです!

(日本野鳥の会 三宅島自然ふれあいセンターアカコッコ館担当 篠木 秀紀)

\*5月から篠木さんが新たに着任し、山本チーフレンジャーとあわせて、2人体制になりました。

**アカコッコ館6月のイベント情報**

**バードウォッチング**

大路池周辺で野鳥を観察! アカコッコやカラスバト、美しい歌声を奏でるコマドリなどを観察します。噴火後の三宅島の鳥たちに変化はあるのでしょうか?

日 時: 6月12日(日)、26日(日) 9:30~11:30  
 集合場所: アカコッコ館駐車場 開催場所: 大路池



**初夏の草花ウォッチング**

初夏の海岸を彩るハマカンゾウやスカシユリ、シマホタルブクロなどを観察します。

日 時: 6月12日(日) 14:00~16:00  
 集合場所: ふるさと体験ビレッジ駐車場 開催場所: 錆ヶ浜、土方海岸

**フィッシュウォッチング**

\*定員10名(要予約)

夏もいよいよ本番です。長太郎池で泳ぎながら、色とりどりの海水魚の仲間や、海辺の生物たちを観察します。

日 時: 6月26日(日) 14:00~16:00  
 集合場所: 長太郎池駐車場 開催場所: 長太郎池

持ち物: マスク、フィン、スノーケル 対象: 泳げる人(小学生以下は親同伴)

**自然ガイドウォーク**

大路池周辺をレンジャーと一緒に歩きながら、三宅島の自然に親しみます。野鳥や植物などの面白い生態の話も交えながら、楽しく散策する2時間コースです。

日 時: 6月25日(土) 9:30~11:30  
 集合場所: アカコッコ館駐車場 開催場所: 大路池